
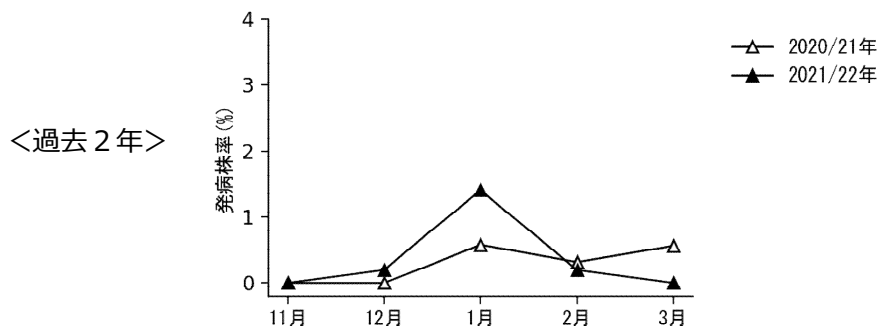
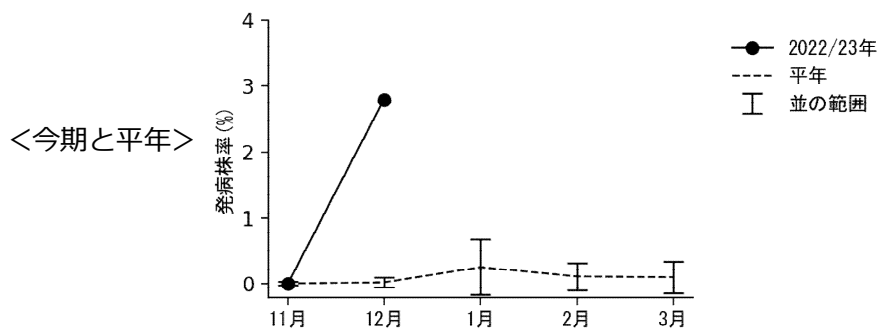


作物	キャベツ	地域	沖縄群島
病害虫名	① 菌核病		
調査結果	12 月の発生量 (平年比)	やや多	
予 報	12 月からの増減傾向	↗	
	1 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果


発病株率の推移



・発生ほ場率40.0% (平年：6.0%)、一部ほ場で多発

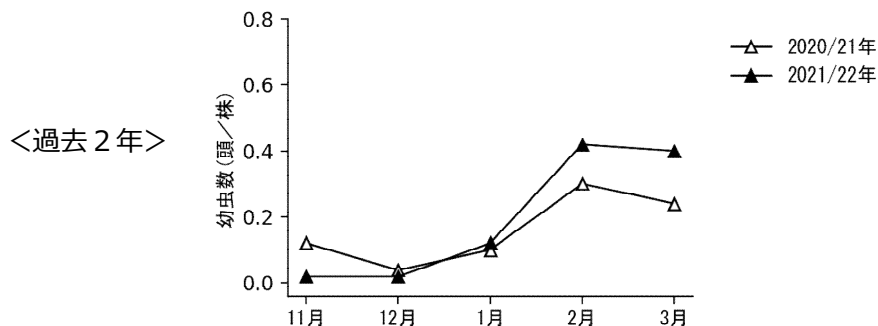
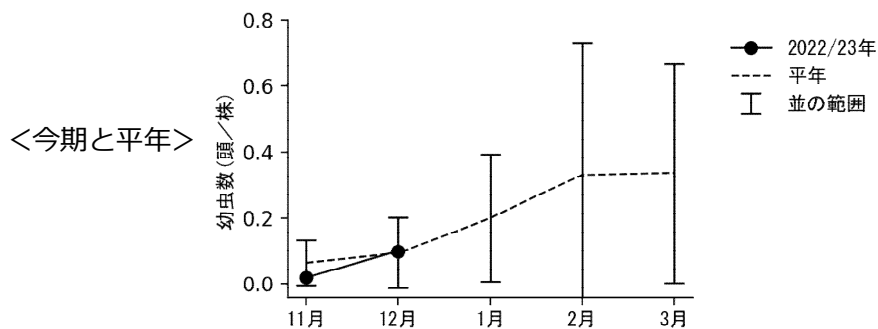
防除のポイント

- ・密植栽培を避けて、通風をよくする。
- ・被害株は菌核を形成しないうちに、早めに抜き取る。
- ・本病が発生しやすい作物での輪作・連作は避ける。
- ・多発生したほ場は、休閑期に天地返しや土壌消毒を行う。

作物	キャベツ	地域	沖縄群島
病害虫名	② コナガ		
調査結果	12 月の発生量（平年比）	並	
予報	12 月からの増減傾向	↗	
	1 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	

調査結果

幼虫数の推移



・発生ほ場率60.0%（平年：32.0%）

防除のポイント

- ・ほ場周辺のアブラナ科雑草の除去および収穫後の残さ処理を徹底し、ほ場管理に努める。
- ・多発すると防除が困難になるので、低密度時に薬剤防除を行う。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

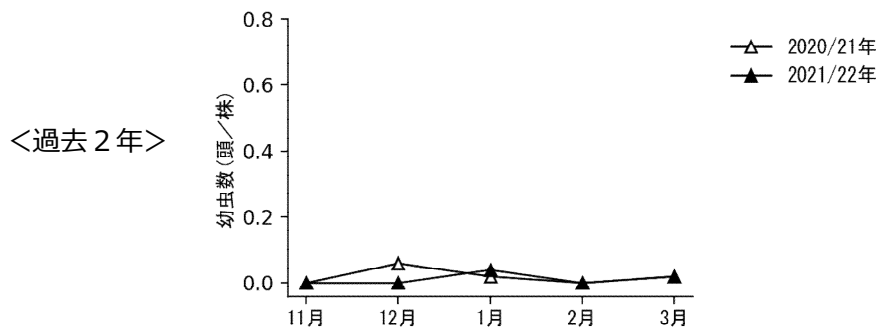
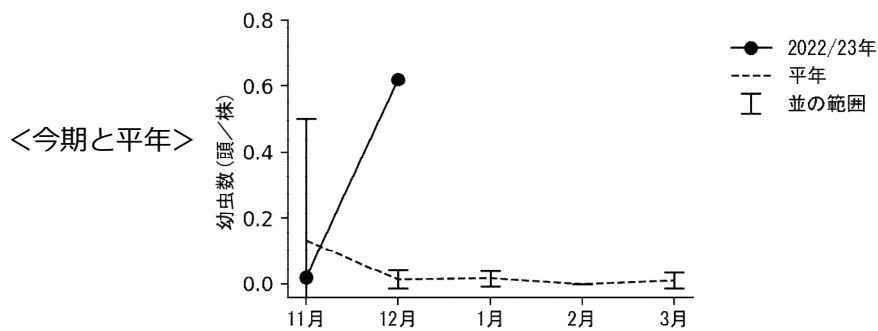
作物	キャベツ	地域	沖縄群島
病害虫名	③ チョウ目幼虫		
調査結果	12 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	12 月からの増減傾向	→	
	1 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	



タマナギンウワバ

調査結果

幼虫数の推移



- ・発生種：タマナギンウワバ、ハスモンヨトウ
- ・発生ほ場率40.0% (平年：8.0%)、一部ほ場で多発

防除のポイント

- ・ほ場周辺の雑草の除去および収穫後の残さ処理を徹底し、ほ場管理に努める。
- ・老齢幼虫に対しては薬剤効果が低減するので、若齢幼虫による食害痕を発見したら、速やかに薬剤を散布する。



ハスモンヨトウ



モンシロチョウ